

庁議報告事項

開催日：令和6年1月15日(月)

1 桑名市長から

- 私自身が新型コロナに感染し、療養期間中はご迷惑をおかけし申し訳なかった。新型コロナやインフルエンザが流行しているので、各自感染対策を行う等注意すること。
- 能登半島地震被災地への支援として、先週はトイレトレーラーを派遣し、今週は保健師を派遣する予定となっている。今後も引き続き、被災地からの要請があれば対応できるよう体制を整えておくこと。
- 能登半島地震で被災した自治体では、受援体制が課題となっている。地理的条件では高知県も似た状況にあるので、現在被災地で何が起きているのか、状況を調査し、高知市で災害が発生した場合の想定や対応策を検討しておくこと。
- 人口減少は深刻な問題である。超高齢社会が到来した時に、社会をどう支えていくか、自治体が主体となって取り組む必要がある。人口減少対策を常に念頭に置いた市政運営が必要であり、高知市の取組を市民の皆さまに発信していく必要がある。令和6年度予算でまずはお示ししたい。人口戦略会議が提言した「人口ビジョン2100」を市長資料としているので、各自資料を確認するとともに、高知市が置かれている状況や課題について各職場内で共有しておくこと。
- 浦戸湾・七河川一斉清掃が4年振りに開催される。開催時期を変更したことや高齢化により、今までのように参加者が集まるのか、地域の方から不安の声があがっているため、しっかりと事前の周知をお願いする。

2 弘瀬副市長から

- 能登半島地震被災地への職員派遣については、熊本地震の際の対応を参考に行う。各職場内では、課内会や係会等で、被災地支援を行った職員が経験を伝えられる場を持つようお願いする。
- 市長や副市長へ協議を行う際は、論点を整理し、部局の考えを示したうえで行うこと。

3 各部局から

○ 報告事項

- ・ 令和6年能登半島地震に係る被災市町村に対する職員の派遣について（総務部）
- ・ 令和6年能登半島地震への対応状況について（防災対策部）
- ・ 第32回浦戸湾・七河川一斉清掃への職員の協力について（市民協働部）
- ・ 能登半島地震の災害義援金募集について（口頭：会計管理者）